

《中部歯車懇話会》
歯車シンポジウム『明日につなげる歯車技術の動向』

開催期日 平成24年2月8日(火)

共催：公益社団法人精密工学会東海支部/(社)日本歯車工業会/中部生産加工技術振興会
協賛：愛知工研協会

東日本大震災、原発停止による電力量低下、円高など、つらい状況が続いています。しかし、この状況下にあっても、技術革新をしていくことが将来の糧でもあり、日本のものづくりを元気にさせる源でもあります。今回は、将来を見据えた観点から、磁気歯車の産業利用、CVTと歯車の両立、DLCを使った高強度歯車、これまで困難であった内歯車の高精度研削など、第1線でご活躍の方々をお招きし、講演会を下記のように開催いたします。関係者の多数のご参加をお待ちしております。

記

日時 平成24年2月8日(水) 9時50分～16時10分
会場 名古屋市工業研究所 管理棟3F 第一会議室(名古屋市熱田区六番三丁目4-41)
【地下鉄名港線「六番町」駅下車 3番出口より南へ約100m】

次第

時間	題目	内容	講師
9:50～10:00	開会の辞		
10:00～11:10	『磁気歯車の開発と現状』	「歯車の理想」を追い求め、その一環として提案したのが磁気歯車である。これまで種々の磁気歯車を試作し、その性能試験を行ってきた。本講では磁気歯車の動作原理とともに、その特長について解説し、磁気歯車の開発過程と現状および展望について紹介する。	東北学院大学 名誉教授 鶴本 勝夫
11:20～12:30	『副変速機付き新型CVTの開発』	新規に開発したCVTは、副変速機という独自機構と無段変速機とを組み合わせることにより、軽自動車から小型自動車まで幅広く搭載可能なワイドレシオを実現した。この新型CVTの主要技術について紹介する。	ジャトコ(株) 中川 善郎
13:30～14:40	『F-1 トランスミッションギヤ用DLCコーティングの開発』	F-1 トランスミッションのギヤ歯面における摩擦損失低減を目的として、DLCコーティングを開発し、2007-2008年のレースに適用した。高圧下での優れた耐久性を有する本DLCコーティングの特徴を紹介する。	(株)本田技術研究所 棚橋 努
14:50～16:00	『量産用内歯車研削盤の開発』	自動車のATなどで使用されている遊星歯車装置のリングギヤを対象ワークとした、内歯車研削盤ZI20Aを開発した。本機の特長は砥石軸とワーク軸の交差角を大きくすることによって研削速度をアップし、高精度な加工を実現していることである。内歯車研削盤の開発の狙い、技術開発、加工事例について述べる。	三菱重工業(株) 柳瀬 吉言

参加費 ◆会員企業(共催、協賛団体会員も本会会員に準じます) 15000円/名(資料代、昼食代を含む)
◆会員企業で2人目からは、8000円/名(例 3名参加では15000+8000+8000=31000円)
◆非会員企業(個人も含む) 20000円/名(資料代、昼食代を含む)
◆学生(受付で学生証提示) 5000円/名(資料代、昼食代を含む)

資料 資料のみの販売もします。会員企業 3000円/冊 非会員企業 5000円/冊 学生 2000円/冊

申込方法 平成24年2月3日(金)までに参加費を銀行振込みして

ください。併せて、「歯車シンポジウム申込み」と題記し、企業(または学校)名、所在地、参加者名、所属、電話番号、所属学・協会名を記入しFAXしてください(申込み書の様式はありません。申込みFAX番号:052-661-0158)。

振込先 三菱東京UFJ銀行 六番町支店 口座番号・普通 1055212 中部歯車懇話会

問合せ先 名古屋市工業研究所内 中部歯車懇話会(名古屋市熱田区六番三丁目4-41)
児島 電話:052-654-9861, E-mail:kojima.sumito@nmiri.city.nagoya.jp